

2018年12月期 第1四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2018年12月期 第1四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
III	2018年12月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2018年4月26日



鳥居薬品株式会社

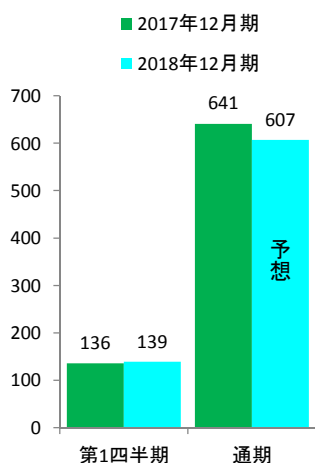
I サマリー情報

① 経営成績

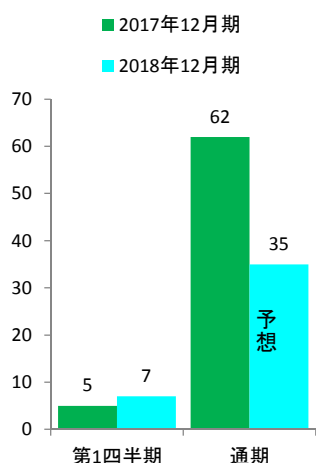
2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年2月6日「平成29年12月期 決算短信(日本基準) (非連結)」)の予想数値から変更はありません。なお、2018年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2017年12月期 実績	2018年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,608	13,930	322	2.4	64,135	60,700	23.0
営業利益	533	769	235	44.2	6,281	3,500	22.0
経常利益	555	790	234	42.2	6,403	3,600	21.9
四半期(当期)純利益	388	569	180	46.4	4,718	2,600	21.9
(参考)							
研究開発費	1,152	1,016	△136	△11.8	4,608	4,710	21.6
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 13.85	20.29	6.44		168.22	92.70	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.5	0.7	0.2		5.5	—	
総資産経常利益率	(%) 0.6	0.8	0.2		6.3	—	
売上高営業利益率	(%) 3.9	5.5	1.6		9.8	—	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.4	0.5	0.1		4.6	—	

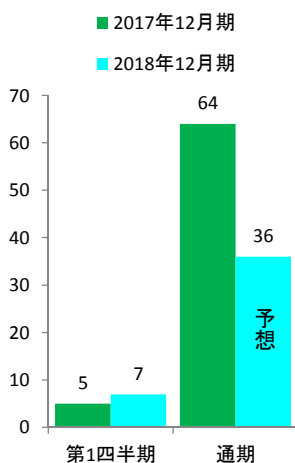
売上高(億円)



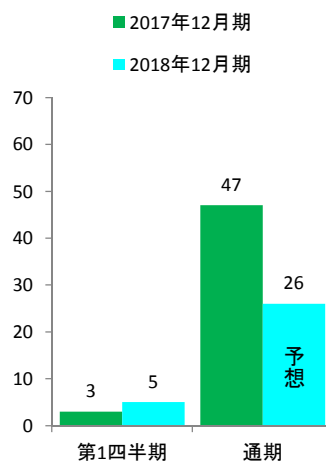
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



② 財政状態

(単位:百万円)	2017年12月期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	104,741	102,487	△2,253	△2.2
純資産	87,119	86,969	△149	△0.2
自己資本比率	(%) 83.2	84.8	1.6	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,105.68	3,100.31	△5.37	

Ⅱ 2018年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

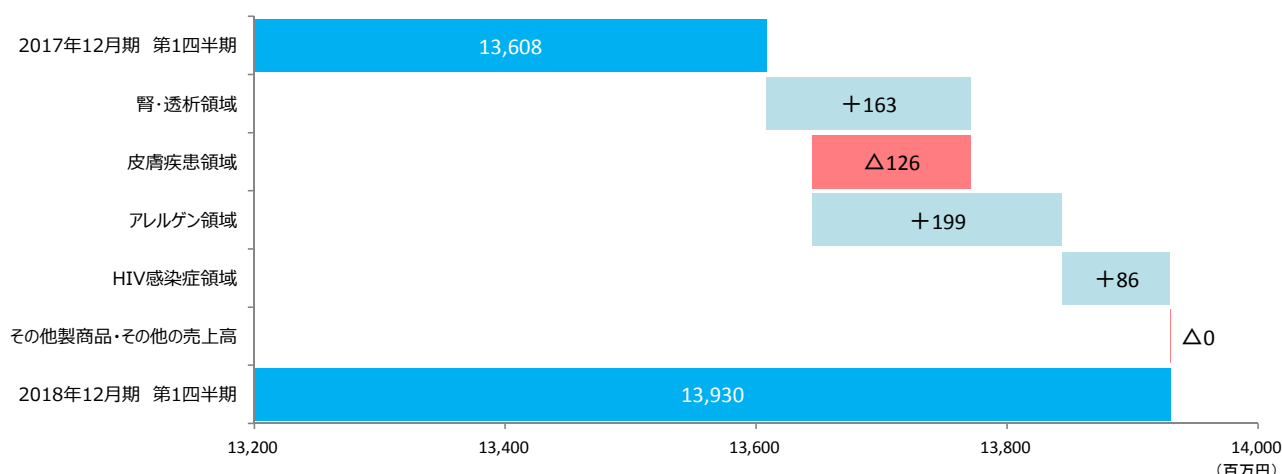
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
売上高	13,608	13,930	322	2.4
製商品売上高	13,382	13,550	168	1.3
腎・透析領域	5,116	5,279	163	3.2
皮膚疾患領域	2,145	2,018	△126	△5.9
アレルギー領域	431	631	199	46.2
HIV感染症領域	4,371	4,457	86	2.0
その他	1,317	1,163	△154	△11.7
その他の売上高	225	380	154	68.2
売上原価	6,802	6,954	152	2.2
製商品売上原価	6,788	6,941	152	2.2
その他の原価	13	13	△0	△3.1
売上総利益	6,806	6,976	170	2.5
販売費及び一般管理費	6,272	6,206	△65	△1.0
販管費(研究開発費除く)	5,120	5,190	70	1.4
研究開発費	1,152	1,016	△136	△11.8
営業利益	533	769	235	44.2
営業外収益	22	20	△2	—
営業外費用	1	0	△1	—
経常利益	555	790	234	42.2
特別損失	16	0	△15	—
税引前四半期純利益	539	789	250	46.4
法人税等	150	220	69	—
四半期純利益	388	569	180	46.4

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	
売上原価	50.0	49.9	△0.1
販売費及び一般管理費	46.1	44.6	△1.5
研究開発費	8.5	7.3	△1.2
営業利益	3.9	5.5	1.6
経常利益	4.1	5.7	1.6
四半期純利益	2.9	4.1	1.2

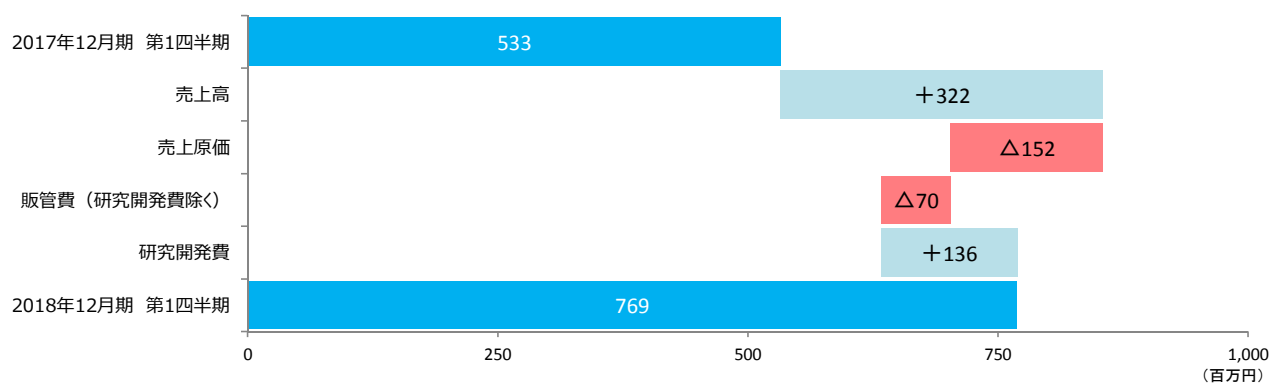
【対前年同期増減要因】

売上高（13,930百万円 対前年同期+322百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	レミッチ	+252百万円	リオナ錠	+139百万円
	注射用フサン	Δ109百万円		
皮膚疾患領域	アンテベート	Δ129百万円		
アレルゲン領域	シダトレン スギ花粉舌下液	+122百万円		
HIV感染症領域	デンコビ配合錠	+1,356百万円	ゲンボイヤ配合錠	+217百万円
	ツルバダ配合錠	Δ1,437百万円		
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（769百万円 対前年同期+235百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 販売数量の伸長による増加
販管費（研究開発費除く）	: 販売促進費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用（TO-203小児鼻炎）の減少、共同開発費用（JTS-661）の増加

経常利益（790百万円 対前年同期+234百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（569百万円 対前年同期+180百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,382	13,550	168	1.3
レミッチ	2,753	3,005	252	9.2
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※2	1,199	2,556	1,356	113.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠	1,285	1,503	217	16.9
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	1,219	1,359	139	11.5
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	1,426	1,296	△129	△9.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	563	573	10	1.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	475	434	△41	△8.7
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	271	394	122	45.1
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ツルバダ配合錠	1,797	359	△1,437	△80.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ロコイド ※1	336	348	12	3.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
注射用フサン ※1	424	314	△109	△25.8
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ゼフナート	209	241	32	15.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
マグセント	223	199	△23	△10.5
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※1	242	165	△77	△31.9
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
その他製商品	954	798	△156	△16.4

※1 自社品

※2 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期 第1四半期 A	2018年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,631	3,433	△197	△5.4
自社品比率 (%)	27.1	25.3	△1.8	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	83,980	81,924	△2,055	△2.4	79.9
現金及び預金	6,458	2,174	△4,283		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	9,836	6,175	△3,660		
受取手形及び売掛金	29,123	26,302	△2,820		
有価証券	24,957	33,448	8,490		
たな卸資産	10,126	11,280	1,153		
その他	3,478	2,543	△935		
固定資産	20,761	20,563	△198	△1.0	20.1
有形固定資産	5,540	5,458	△82		
無形固定資産	817	814	△3		
投資その他の資産	14,403	14,290	△112		
投資有価証券	7,478	7,608	130		
長期前払費用	5,748	5,483	△264		
その他	1,176	1,198	21		
資産合計	104,741	102,487	△2,253	△2.2	100.0
流動負債	15,868	13,715	△2,152	△13.6	13.4
買掛金	8,242	7,783	△459		
未払法人税等	1,396	303	△1,093		
賞与引当金	684	1,337	652		
その他	5,544	4,291	△1,252		
固定負債	1,753	1,802	48	2.8	1.7
負債合計	17,622	15,518	△2,104	△11.9	15.1
株主資本	86,364	86,259	△104	△0.1	84.2
評価・換算差額等	745	698	△46	△6.2	0.7
新株予約権	9	11	1	14.3	0.0
純資産合計	87,119	86,969	△149	△0.2	84.9
負債純資産合計	104,741	102,487	△2,253	△2.2	100.0

主な増減要因

(流動資産)

受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少

有価証券 : 債券、信託受益権の取得による増加、譲渡性預金の償還による減少

たな卸資産 : 商品の増加

(流動負債)

その他 : 未払金、未払消費税等の減少

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	128	165	37	29.1
有形固定資産	56	99	43	77.9
無形固定資産	72	65	△6	△8.9

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	299	249	△49	△16.6
長期前払費用償却費	262	268	6	2.4

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
JTS-661	そう痒症	経口剤		Phase II ※				・Menlo Therapeutics, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ※Phase II 試験中止、今後の開発方針について検討中
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイクア タニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠					承認	・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2018年2月に小児適応に係る用法・用量の追加承認取得

前回公表時 (2018年2月6日) からの変更点

- ・TO-203「ミテイクア タニ舌下錠」(小児アレルギー性鼻炎)の小児適応に係る用法・用量の追加承認取得
- ・TO-206「シダキア スギ花粉舌下錠」は2018年6月下旬に販売を開始予定 (前回公表時:開発段階「承認」)
- ・JTS-661の開発段階に「Phase II ※」、備考欄に「※Phase II 試験中止、今後の開発方針について検討中」と追記

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療薬であるcalcifediol徐放製剤 (米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売) について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

Ⅲ 2018年12月期 業績予想

2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年2月6日「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値から変更はありません。なお、2018年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

① 損益計算書

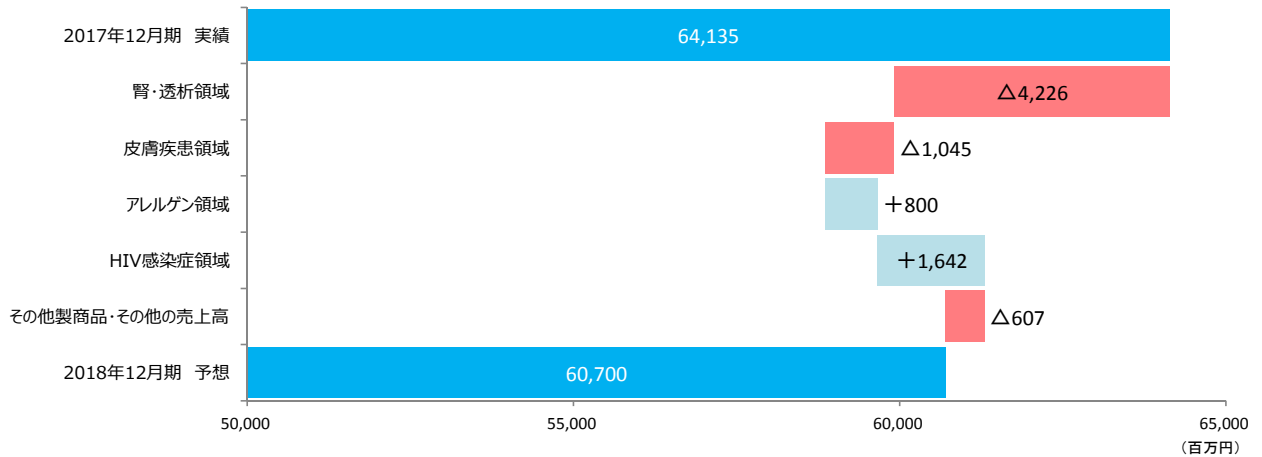
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
売上高	64,135	60,700	△3,435	△5.4
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
腎・透析領域	25,276	21,050	△4,226	△16.7
皮膚疾患領域	9,905	8,860	△1,045	△10.6
アレルギー領域	2,099	2,900	800	38.2
HIV感染症領域	19,777	21,420	1,642	8.3
その他	5,877	5,580	△297	△5.1
その他の売上高	1,199	890	△309	△25.8
売上原価	31,293	30,400	△893	△2.9
売上総利益	32,841	30,300	△2,541	△7.7
販売費及び一般管理費	26,559	26,800	240	0.9
販管費（研究開発費除く）	21,950	22,090	139	0.6
研究開発費	4,608	4,710	101	2.2
営業利益	6,281	3,500	△2,781	△44.3
経常利益	6,403	3,600	△2,803	△43.8
当期純利益	4,718	2,600	△2,118	△44.9

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	48.8	50.1	1.3
販売費及び一般管理費	41.4	44.2	2.8
研究開発費	7.2	7.8	0.6
営業利益	9.8	5.7	△4.1
経常利益	10.0	5.9	△4.1
当期純利益	7.4	4.3	△3.1

【対前期実績増減要因】

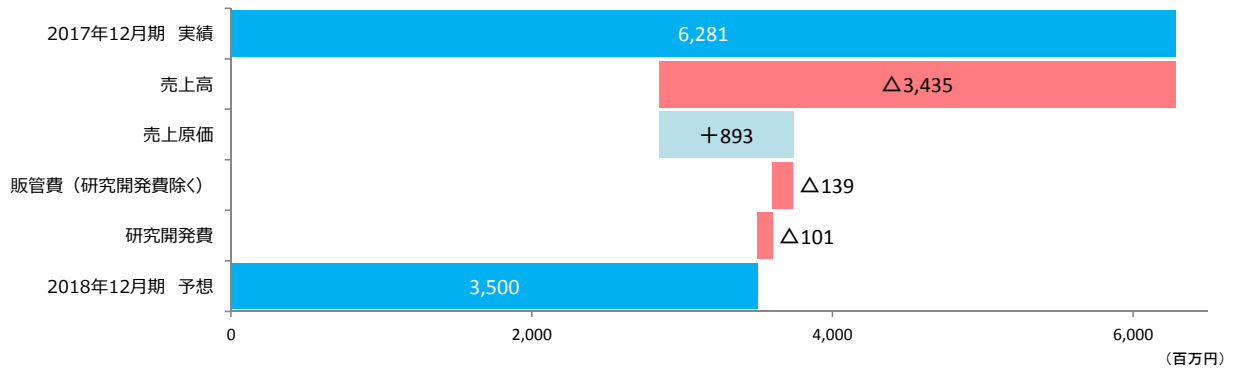
売上高（60,700百万円 対前期実績△3,435百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	レミッチ	△3,308百万円	注射用フサン	△1,017百万円
	ユリノーム錠	△320百万円	リオナ錠	+614百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	△652百万円	ゼフナート	△123百万円
	シダトレン スギ花粉舌下液	+314百万円		
アレルギー領域	デシコビ配合錠	+4,381百万円	ゲンボイヤ配合錠	+964百万円
	ツルバダ配合錠	△3,551百万円		
その他製商品・その他の売上高	手数料収入	△292百万円		

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（3,500百万円 対前期実績△2,781百万円）



主な増減要因	
売上原価	：売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	：販売費の増加
研究開発費	：共同開発費用（JTS-661）の増加、共同開発費用（JTE-052）の減少

経常利益（3,600百万円 対前期実績△2,803百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（2,600百万円 対前期実績△2,118百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期 実績 A	2018年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
デシコビ配合錠 ※2	9,218	13,600	4,381	47.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
レミッチ	13,838	10,530	△3,308	△23.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ゲンボイヤ配合錠	6,325	7,290	964	15.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	6,245	6,860	614	9.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	6,282	5,630	△652	△10.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	2,545	2,680	134	5.3
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	2,123	1,930	△193	△9.1
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,295	1,610	314	24.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ゼフナート	1,483	1,360	△123	△8.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ロコイド ※1	1,411	1,320	△91	△6.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
マグセント	1,115	1,080	△35	△3.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
注射用フサン ※1	2,047	1,030	△1,017	△49.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ユリノーム錠 ※1	1,020	700	△320	△31.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	3,941	390	△3,551	△90.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,040	3,800	△240	△6.0

※1 自社品

※2 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期 実績 A	2018年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	16,323	14,680	△1,643	△10.1
自社品比率 (%)	25.9	24.5	△1.4	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	931	1,166	234	25.1
有形固定資産	714	945	230	32.3
無形固定資産	217	221	3	1.5

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,174	1,128	△46	△3.9
長期前払費用償却費	1,061	961	△100	△9.4

⑤ 配当

		2017年12月期	2018年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	28.5	51.8	23.3	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。